

横浜商科大学 准教授 岩倉ゼミ × 公益社団法人アニマルドネーション
協働アンケート調査

プロジェクト名：HOGO animal future project

犬や猫を飼おうと思ったら、保護犬猫を飼うということが
スタンダード（当たり前）な世の中にしたい！！



保護犬・保護猫実態調査

犬猫飼育者の意識や飼育している動物との出会いについての実態を明らかにする



保護犬・保護猫を飼うか悩んでいる人

保護犬・保護猫と暮らしている
飼い主のリアルな声を紹介

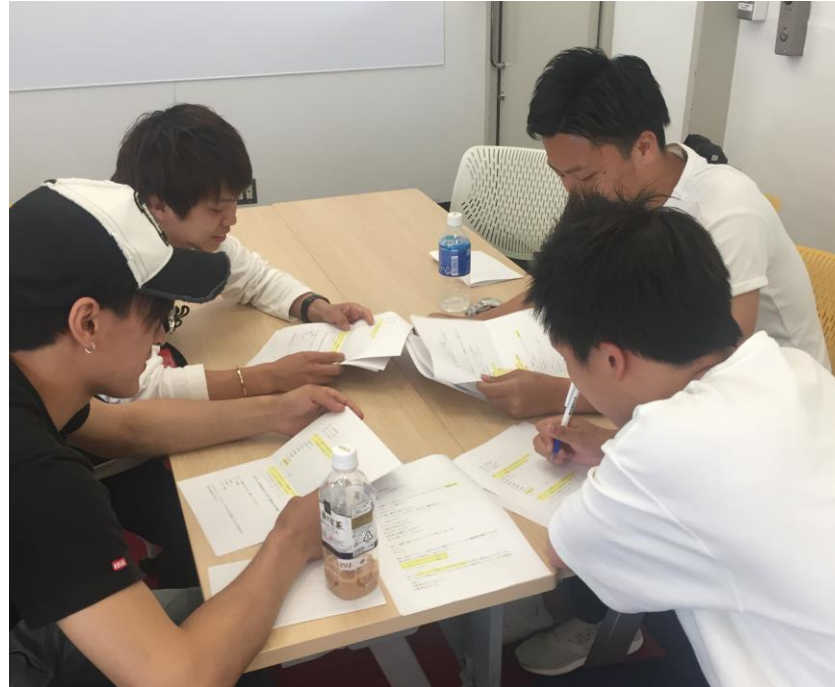


保護活動をしている人

保護動物に対するイメージの違いから
新しい飼い主探しでネックになっている要因を紹介

アンケート調査の概要

調査手法	インターネット調査
調査地域	全国
調査目的	犬猫飼育者の意識や飼育している動物との出会いについての実態を明らかにする
対象者条件	現在、犬猫を飼育している人
有効回収数	921（回答者数：959）
調査実施期間	2017年7月6日（木）～2017年7月16日（日）



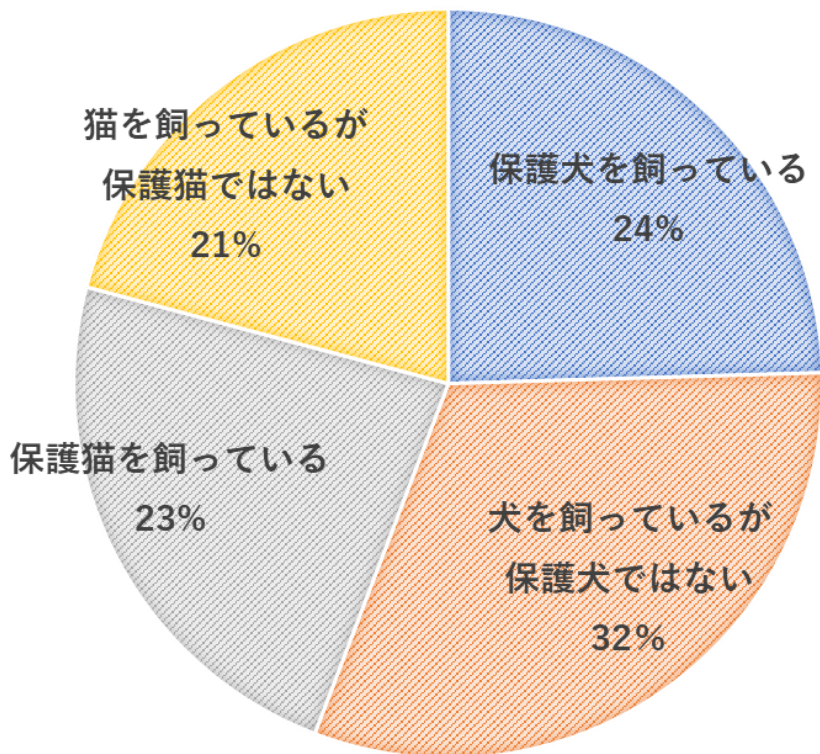
アンケート調査の概要

【定義】

保護犬・保護猫

・ 飼い主に捨てられたり迷子などにより飼い主がいない犬・猫で、一時的に動物愛護センターといった行政の施設やボランティア団体（個人を含む）などに保護されている犬・猫

・ 自分で保護した／拾った、他者からもらった、は保護犬・保護猫には該当しません。



	保護	ペットショップなどで購入	拾う／もらう
犬	保護犬 (224)	購入犬 (290)	—
猫	保護猫 (214)	購入猫 (36)	拾い猫・もらい猫 (156)

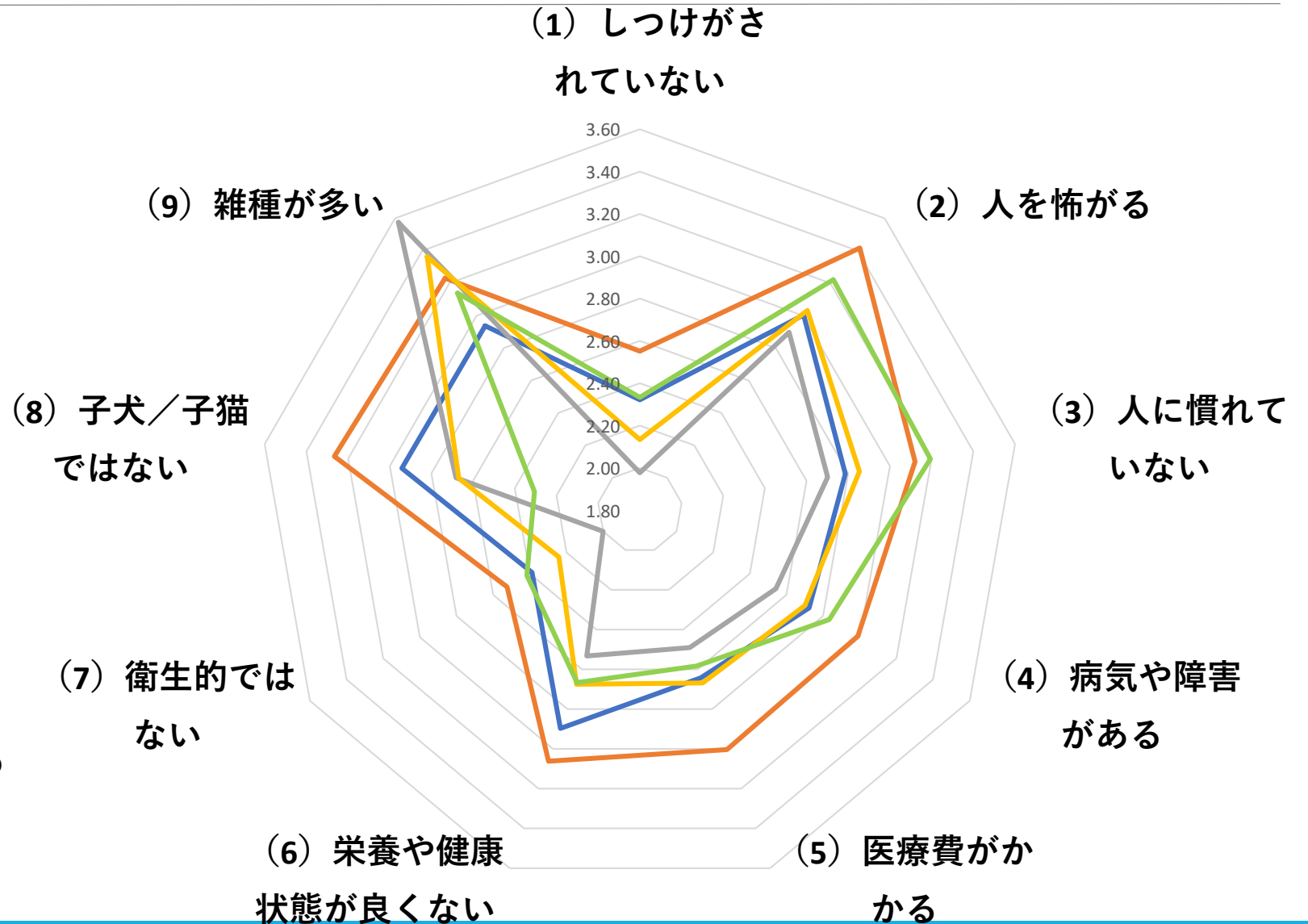
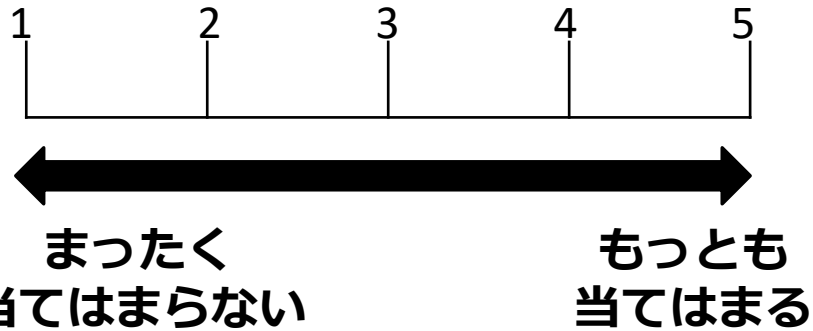
分析結果の紹介①

【保護活動をしている人】

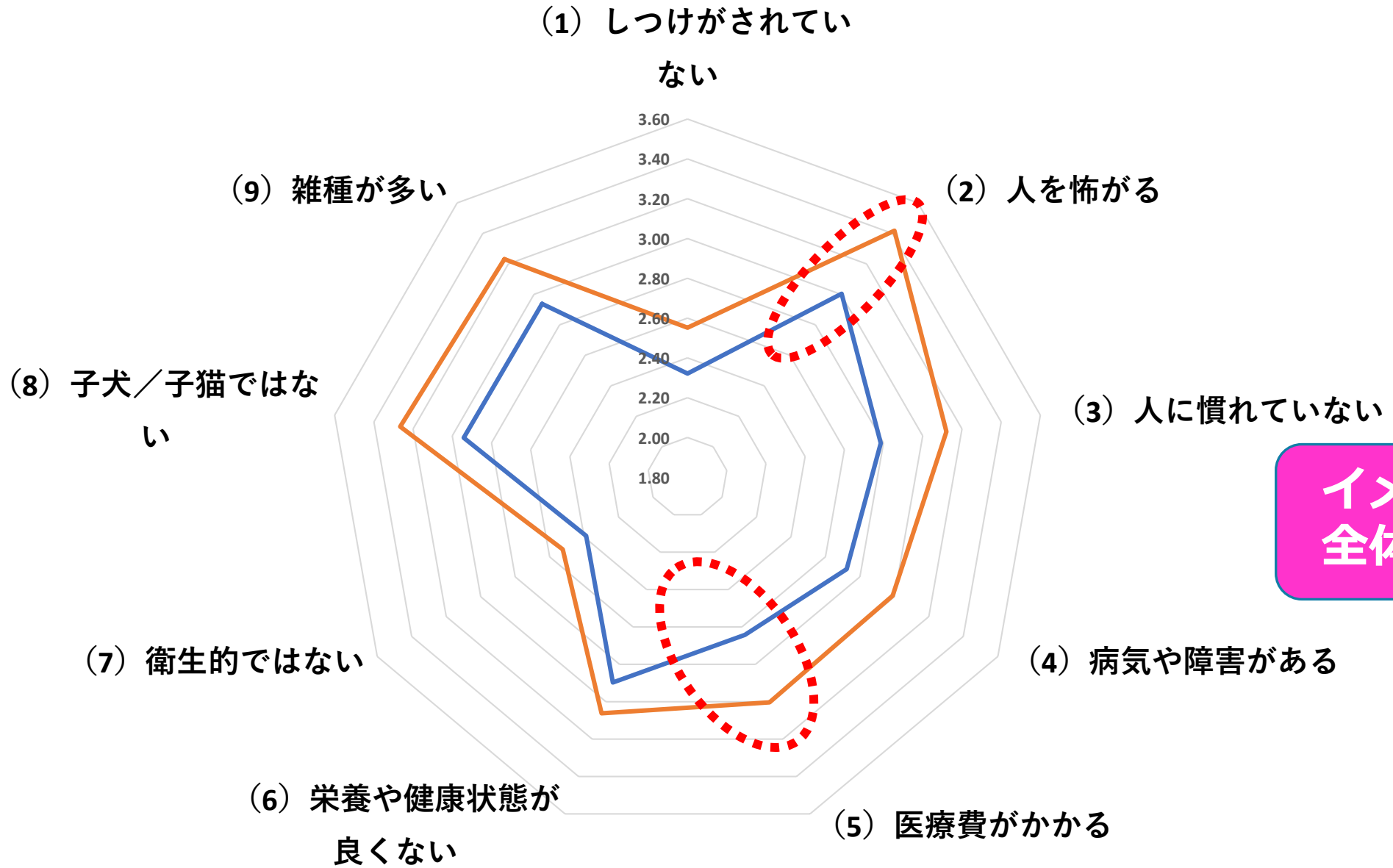
保護動物飼育者と非保護動物飼育者が抱く保護動物に対するイメージの違い

保護犬・保護猫のイメージ

- 保護犬
- 購入犬
- 保護猫
- 拾い猫・もらい猫
- 購入猫

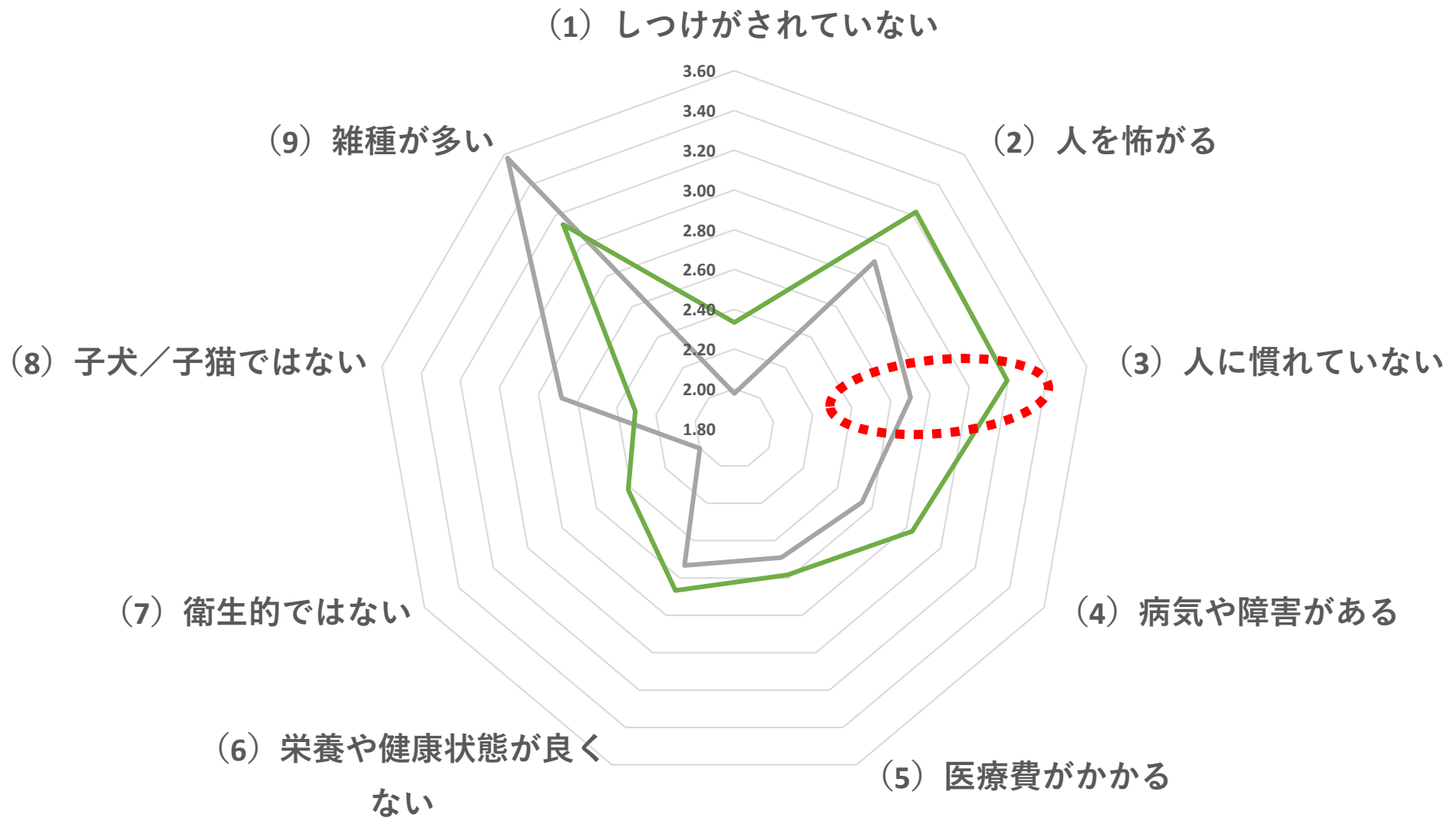


—保護犬 —購入犬

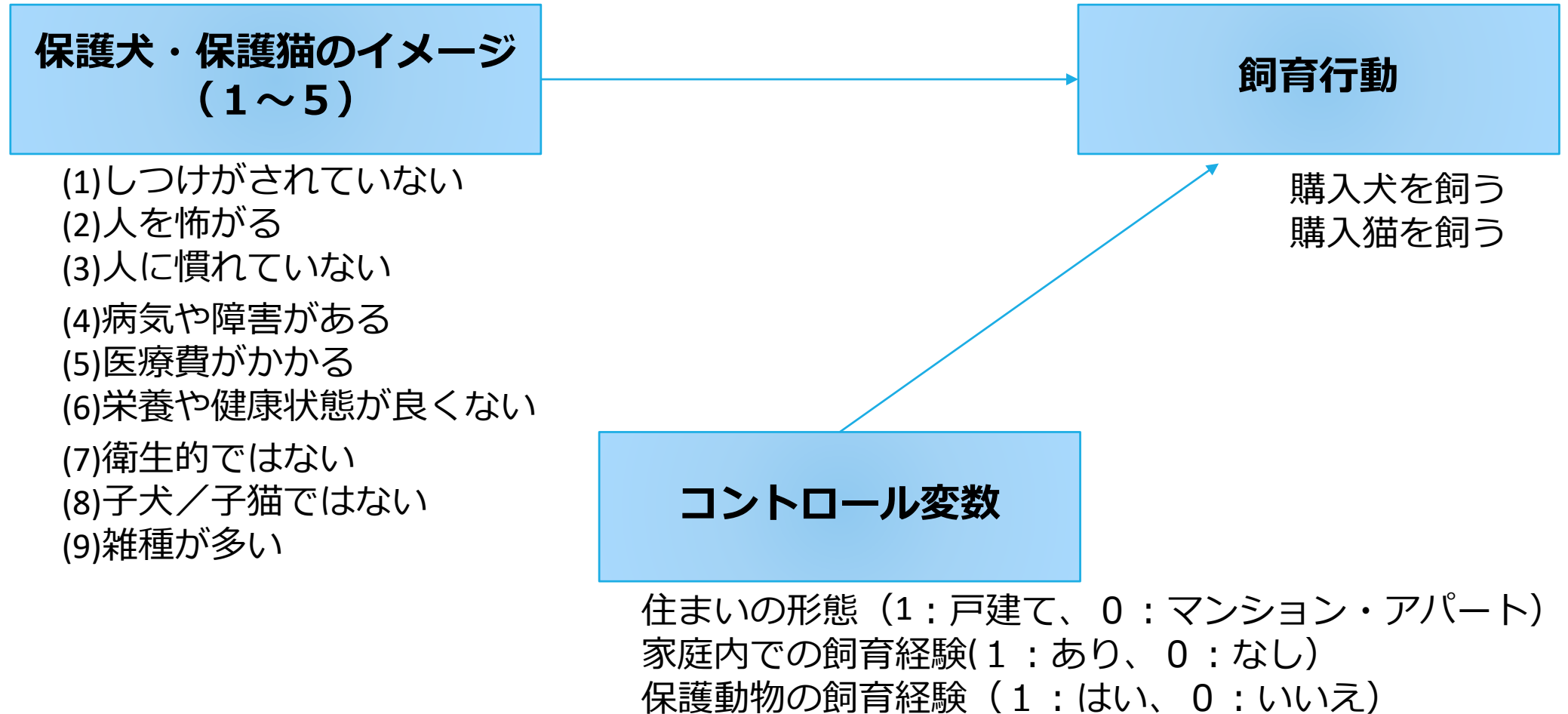


イメージに差はあるが
全体としては似た傾向

—保護猫 —購入猫



重回帰分析：イメージと行動



分析のまとめ

犬

猫

保護動物の飼育経験



しつけがされていない
医療費がかかる
子犬／子猫ではない

人に慣れていない

保護犬・保護猫の飼育を
遠ざけている要因

保護動物の飼育経験があると
保護動物を飼う傾向にある

「子犬・仔猫ではない」
というイメージは
購入猫を飼う
要因にはなっていない

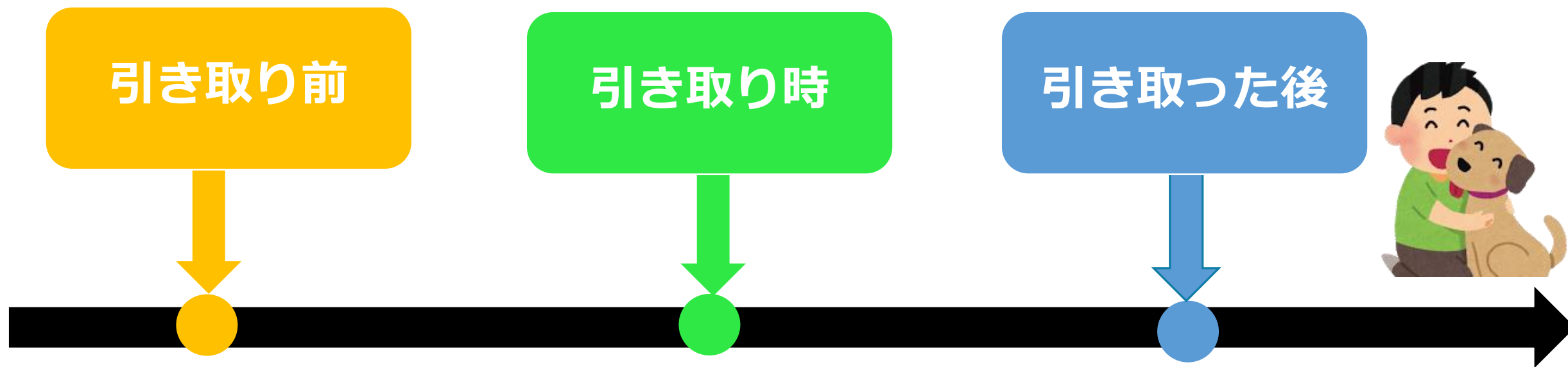


※保護犬・保護猫飼育者の分析
でも同様の結果

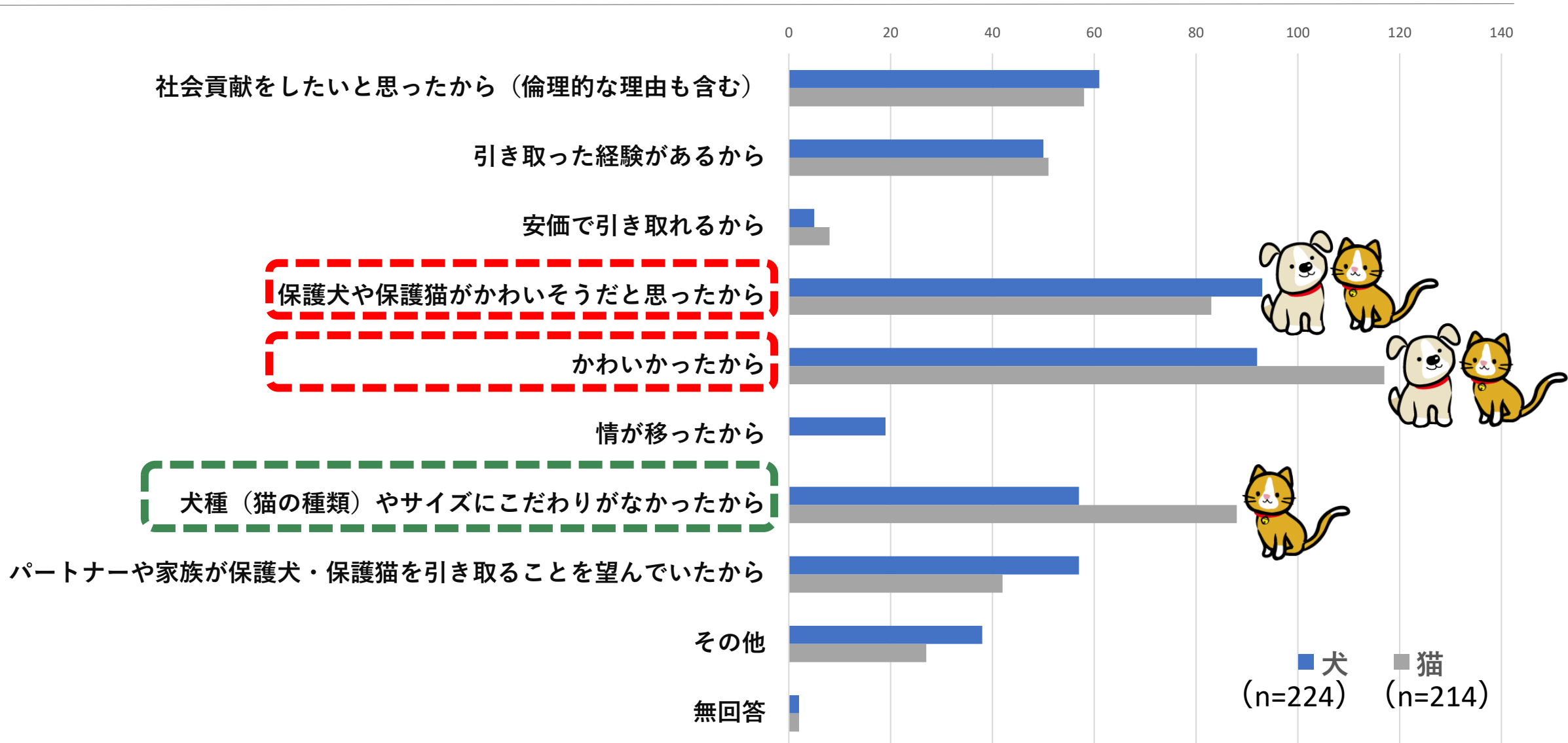
分析結果の紹介②

【保護動物を飼おうか悩んでいる人】
飼育者のリアルな声の紹介

保護動物と暮らしている飼い主のリアルな声

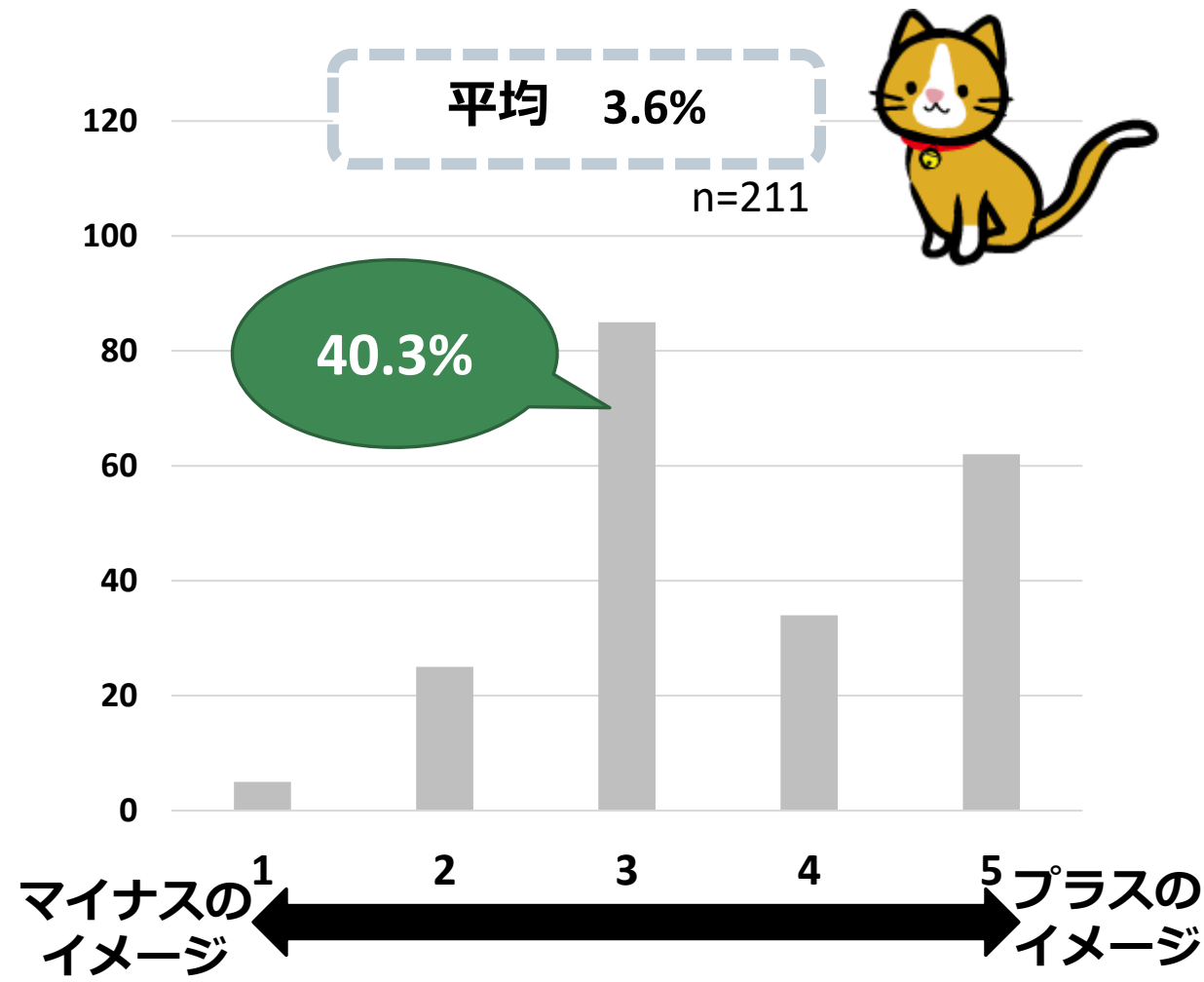
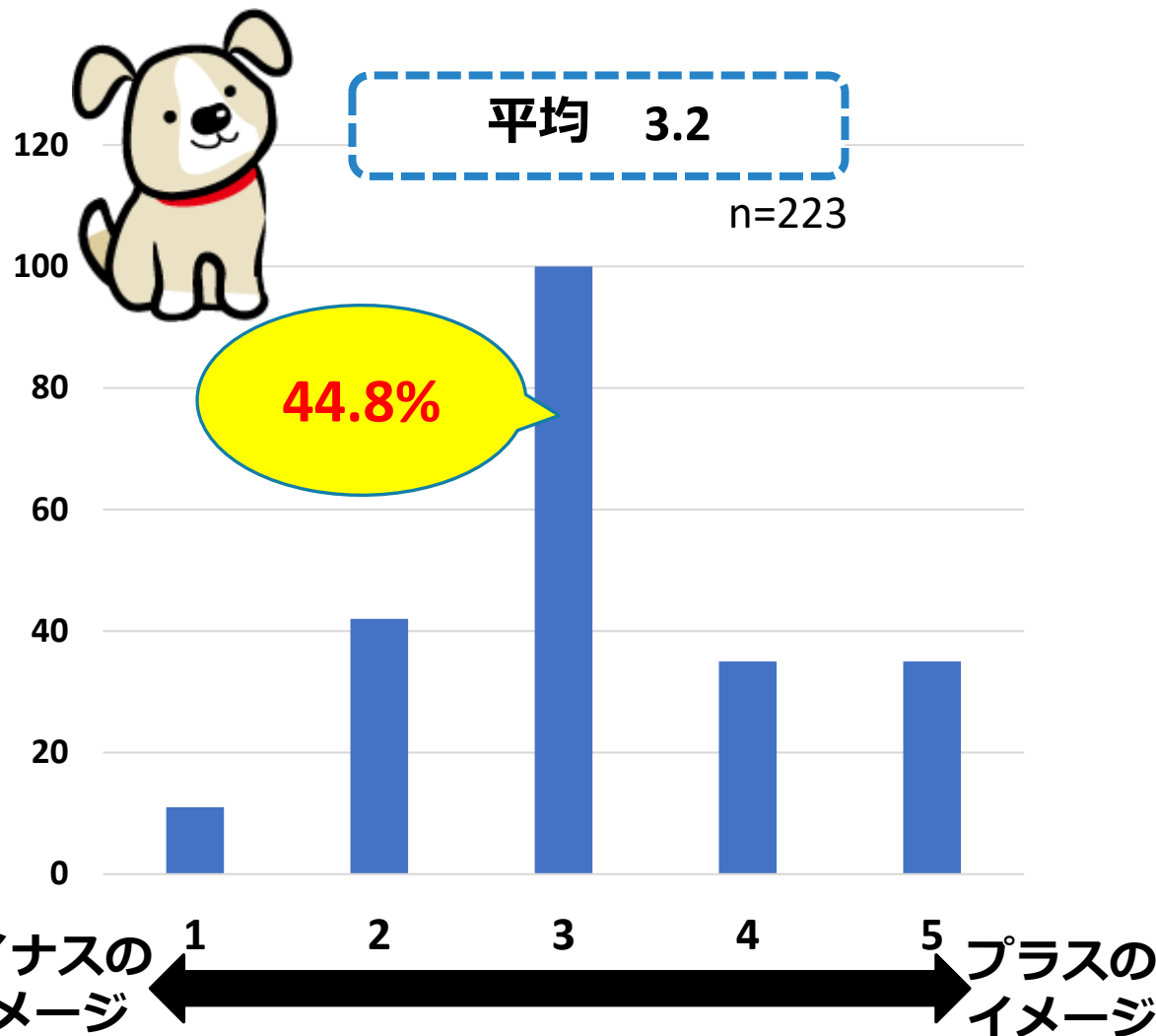


引き取ろうとした動機は何ですか？（複数回答）



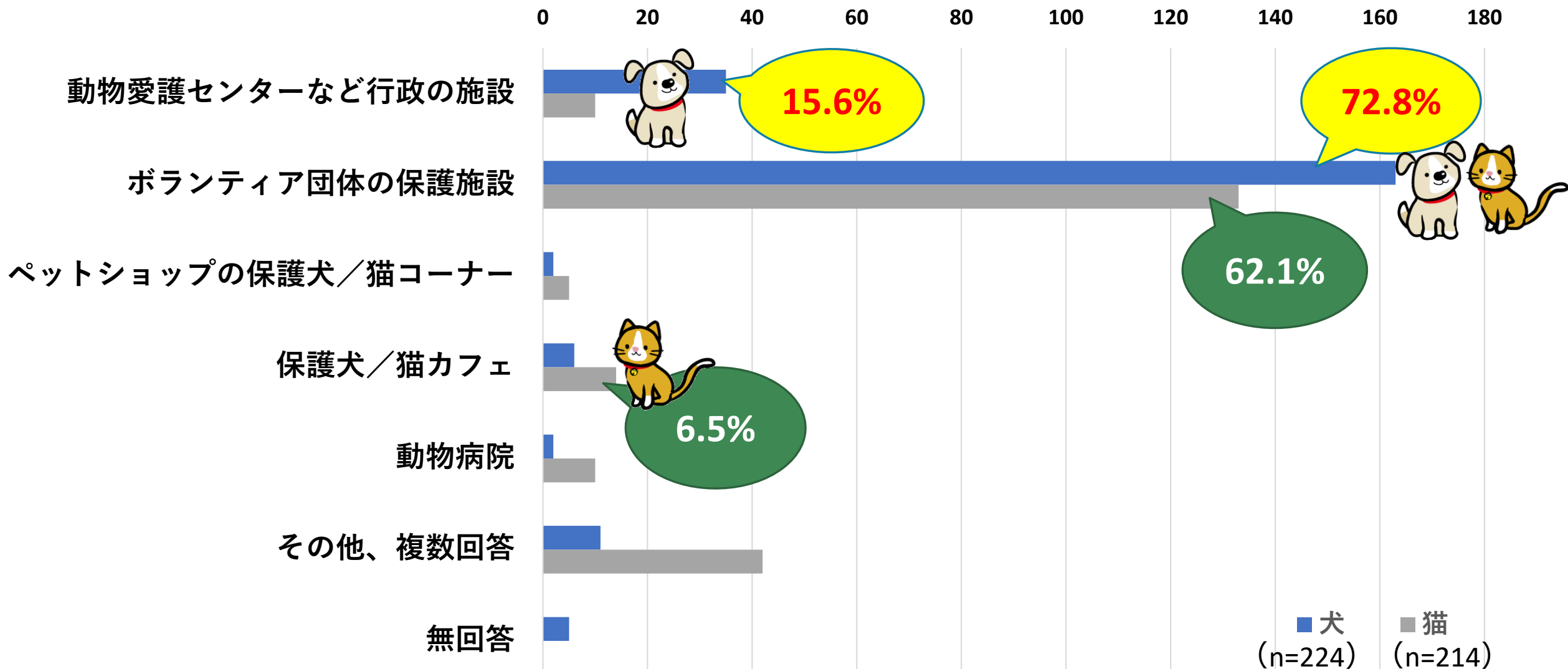
引き取り前

引き取る前のイメージ



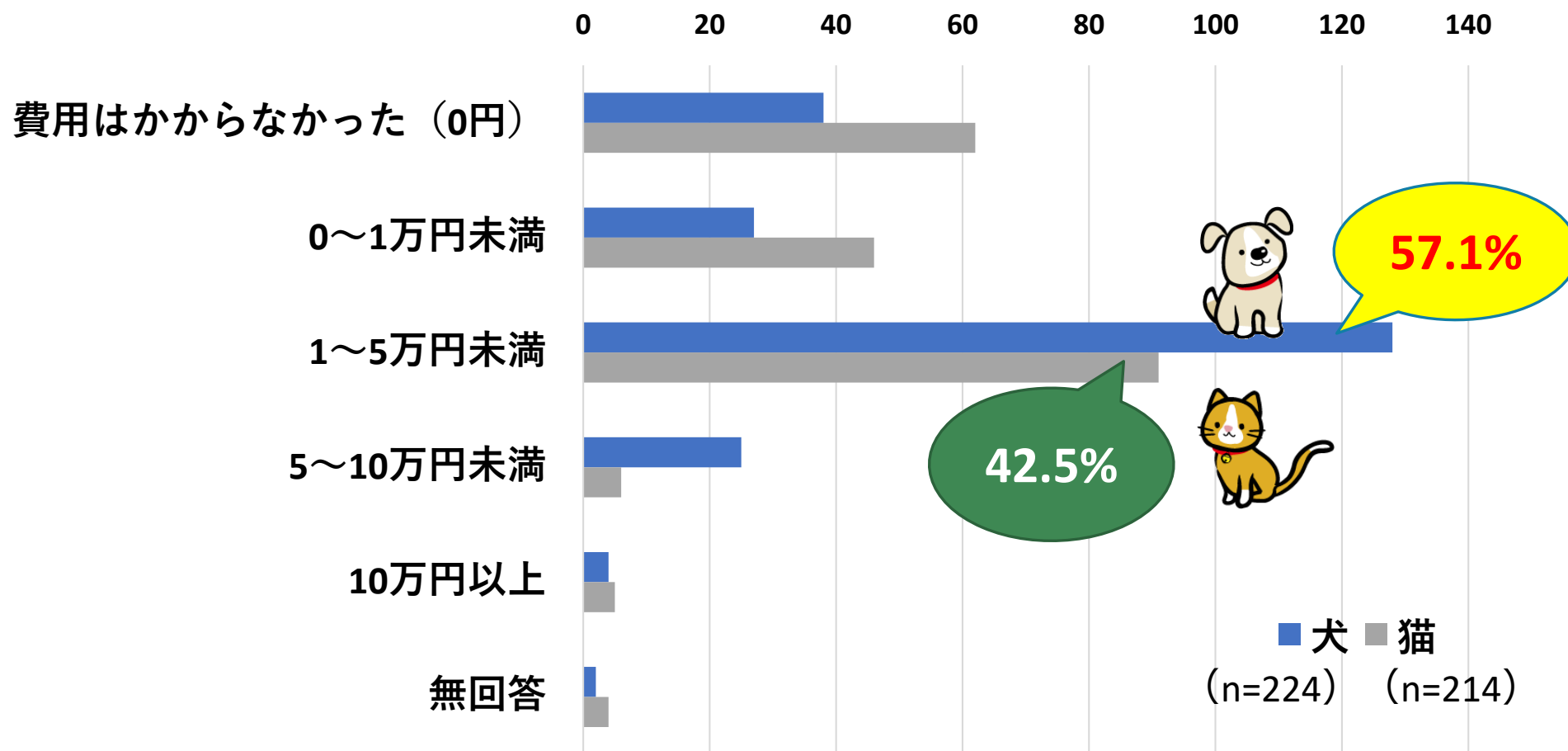
引き取り時

実際に引き取ったところ



引き取り時

引き取り費用

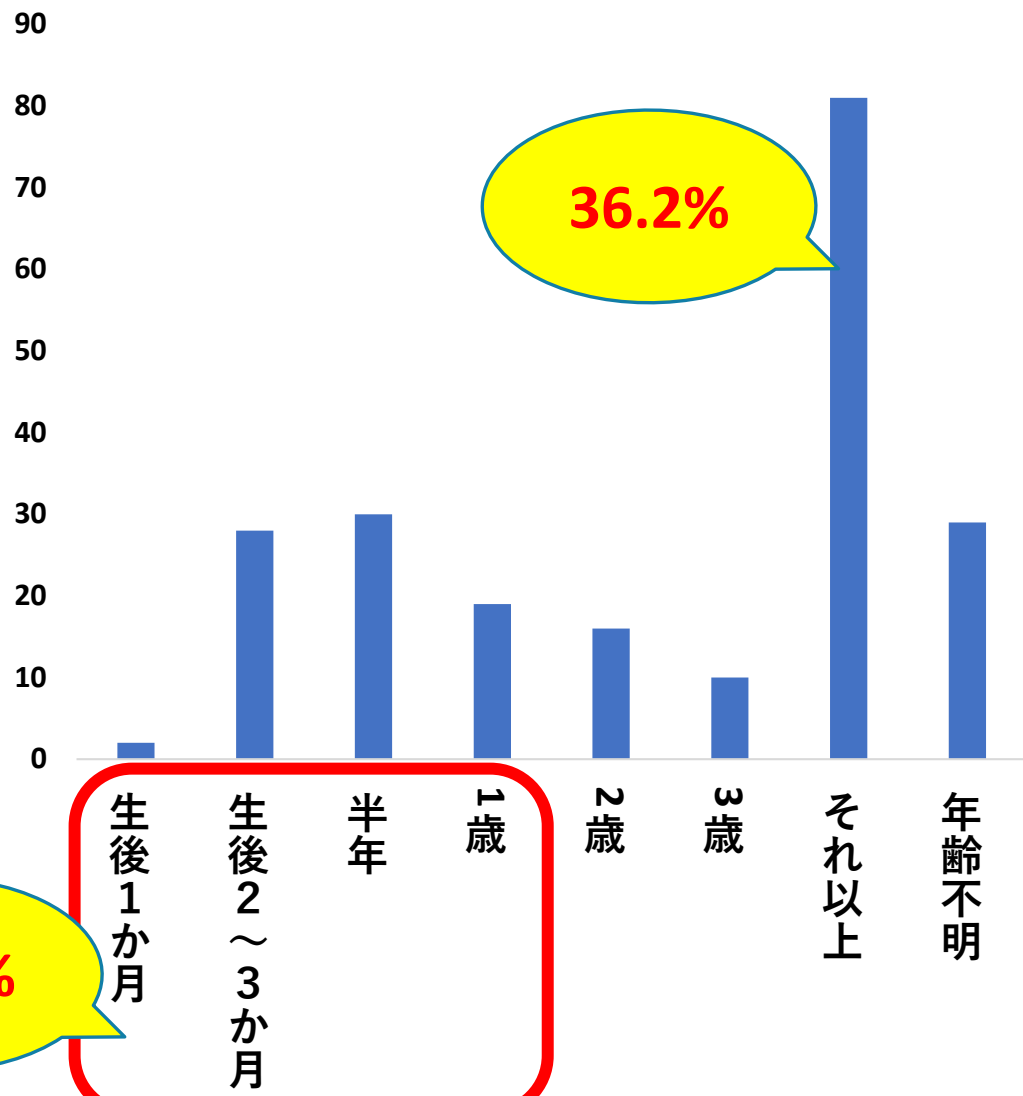


引き取り時

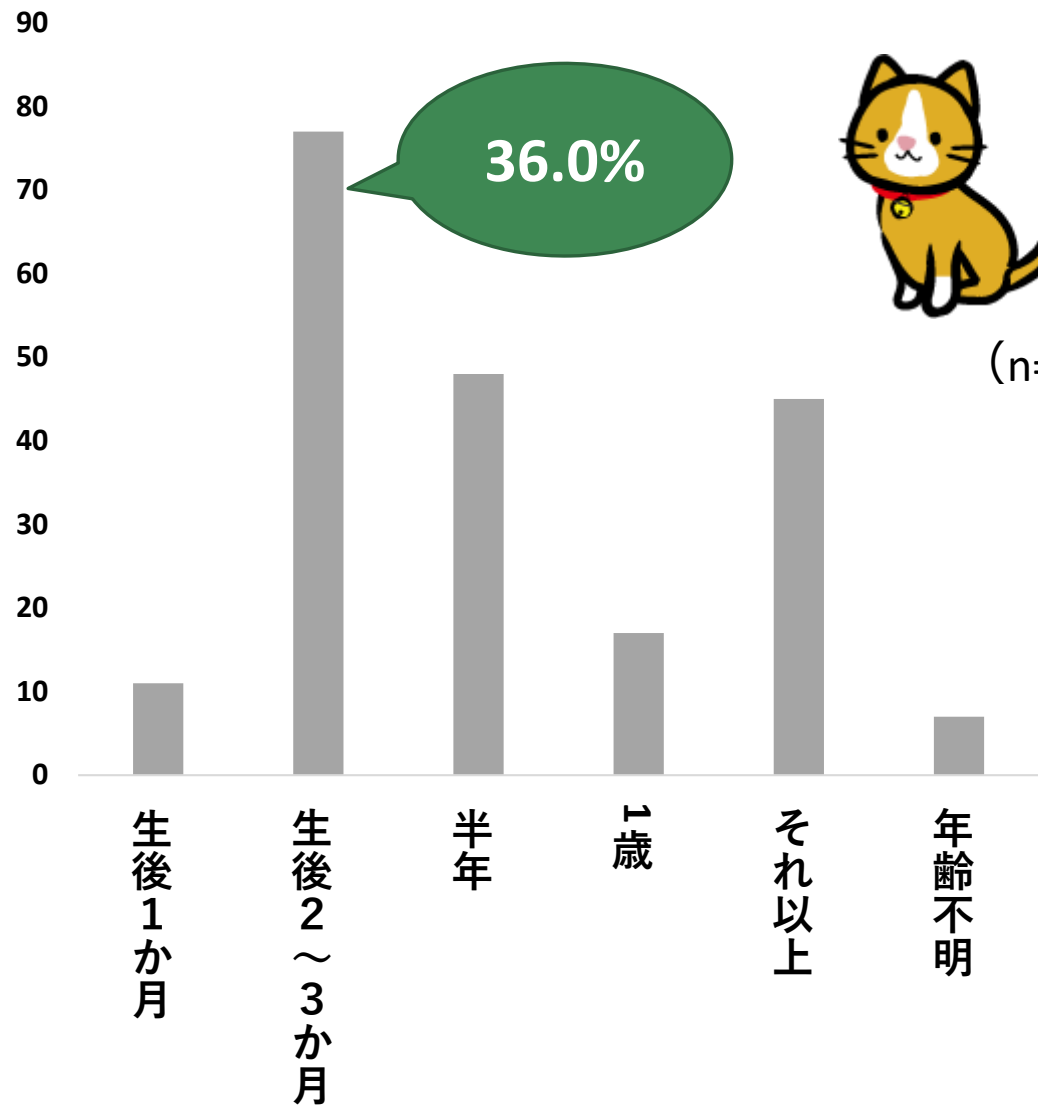
引き取った年齢



(n=224)



(n=214)

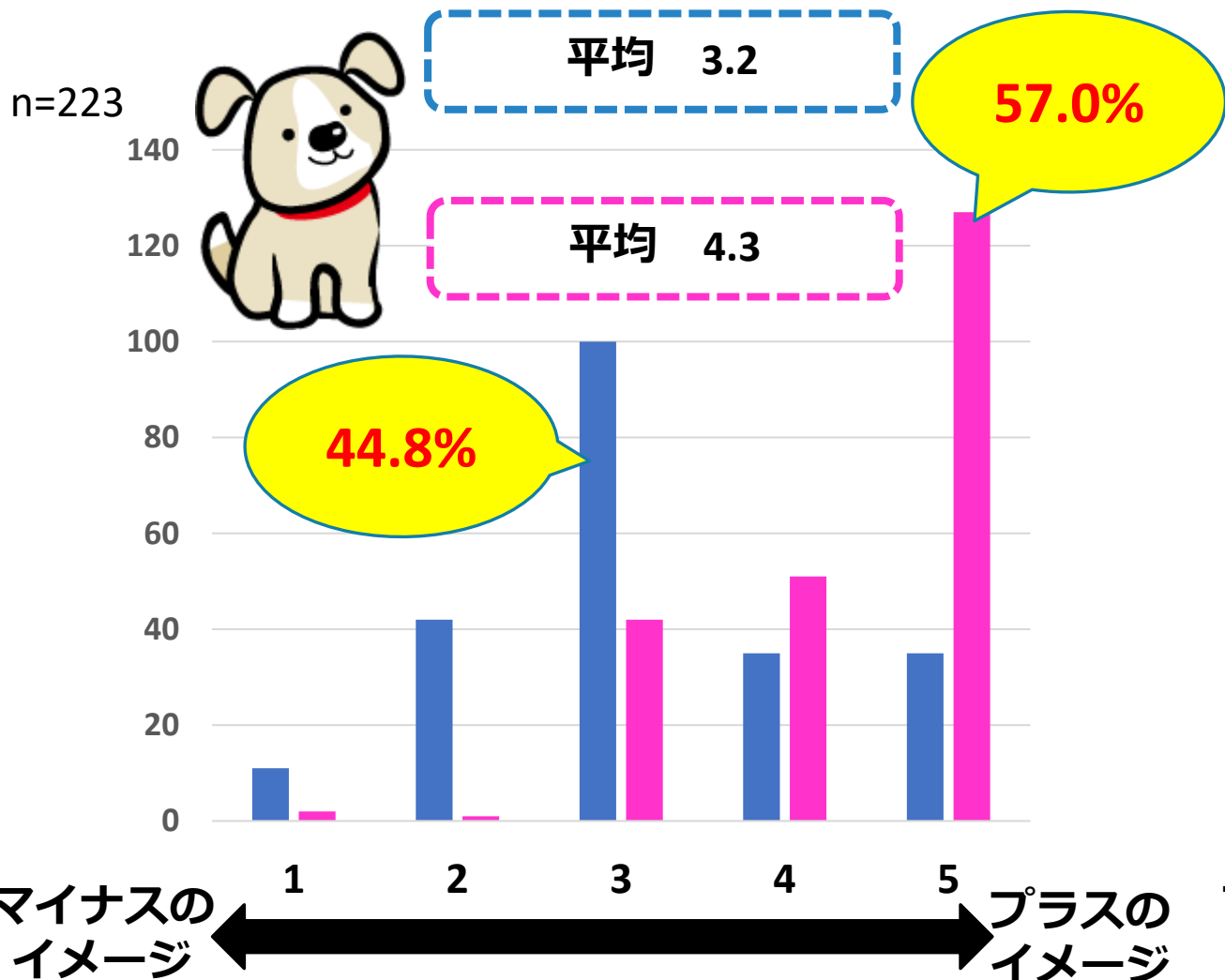
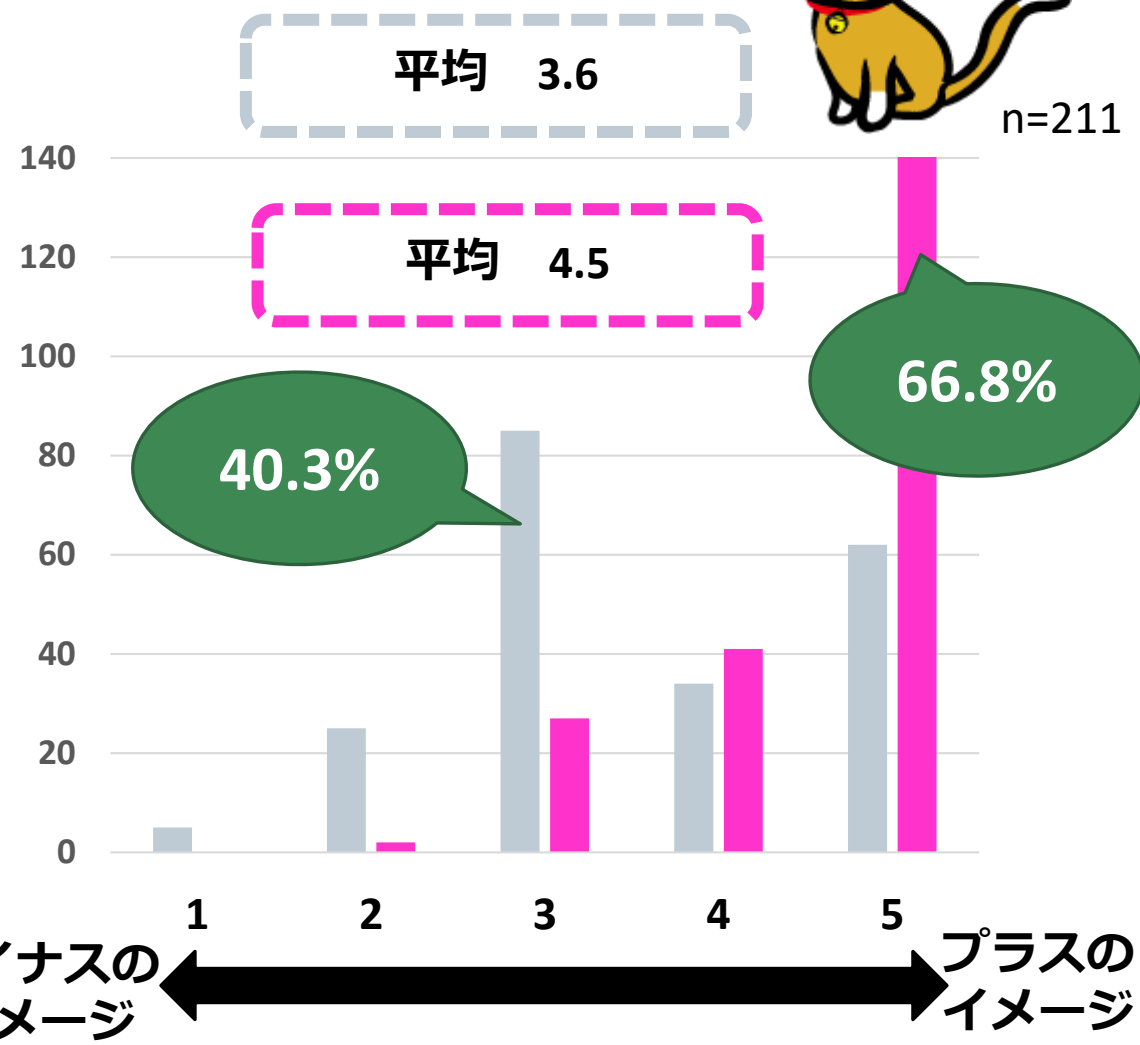


引き取った後

引き取る前と引き取った後のイメージの変化

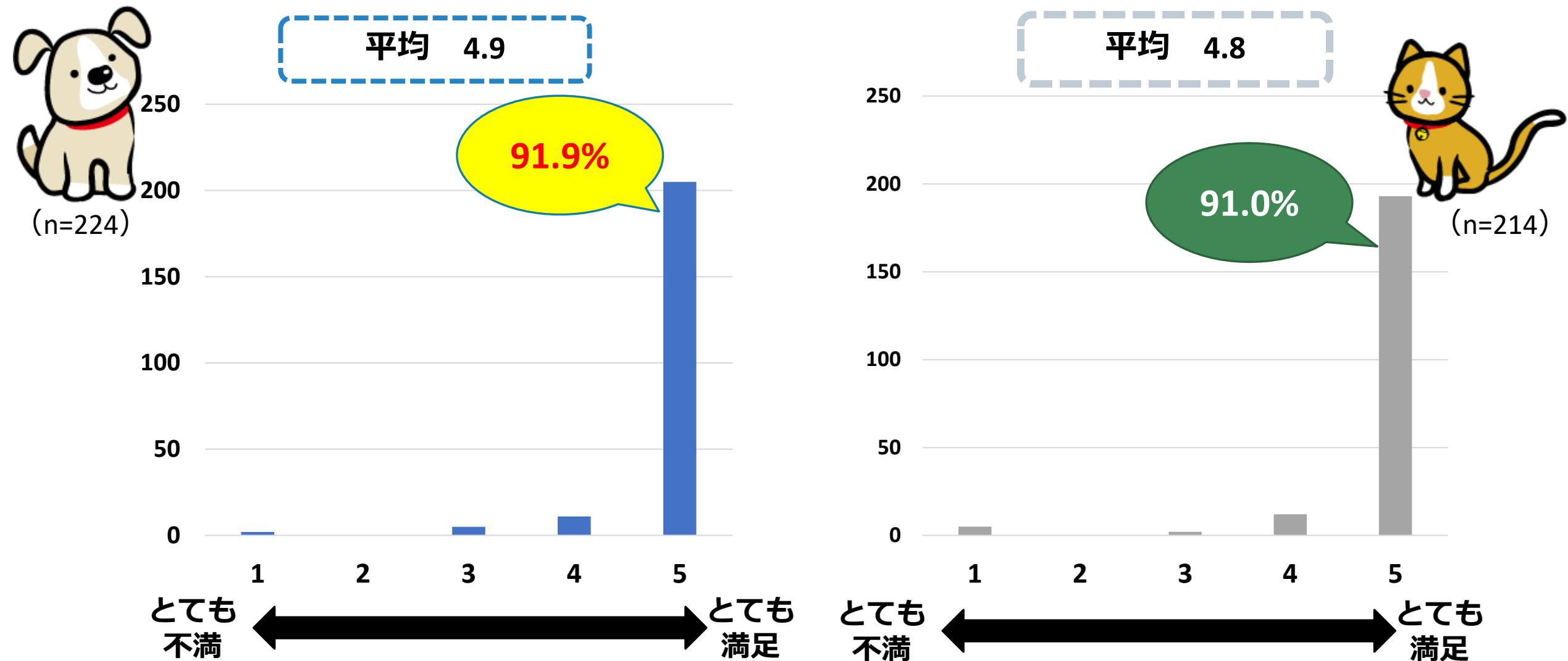


n=211



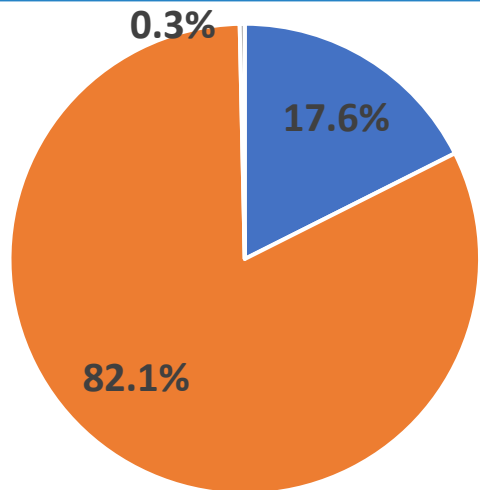
引き取った後

保護犬・保護猫を引き取って満足していますか。

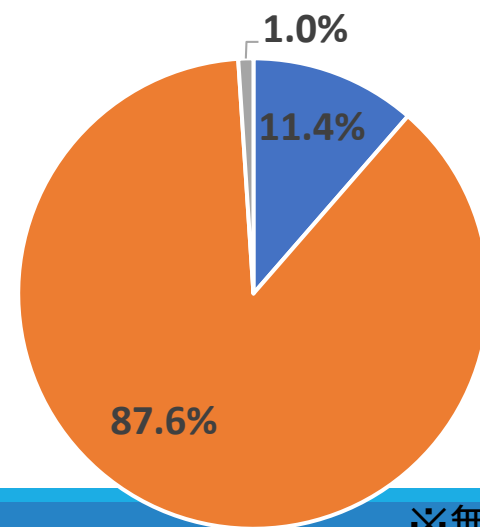


99%が保護施設の存在を知っているが・・・

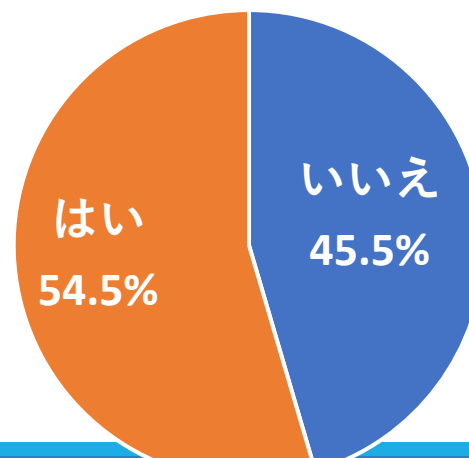
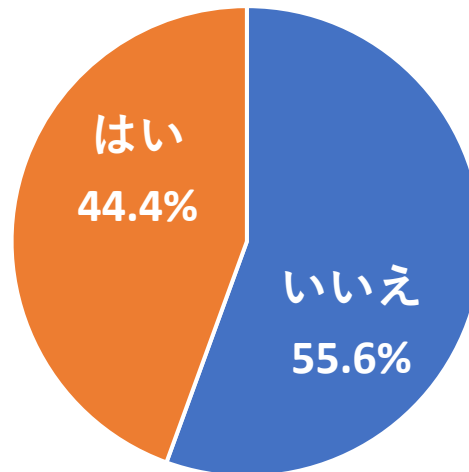
引取りができることを知っている



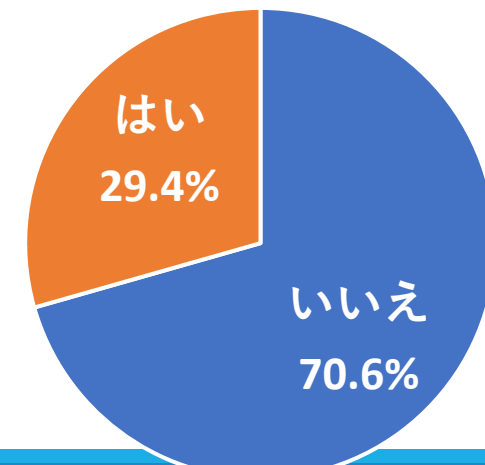
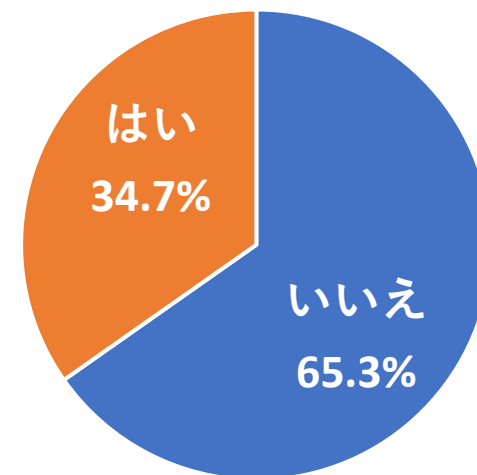
- 知っている
- 知らない
- 無回答



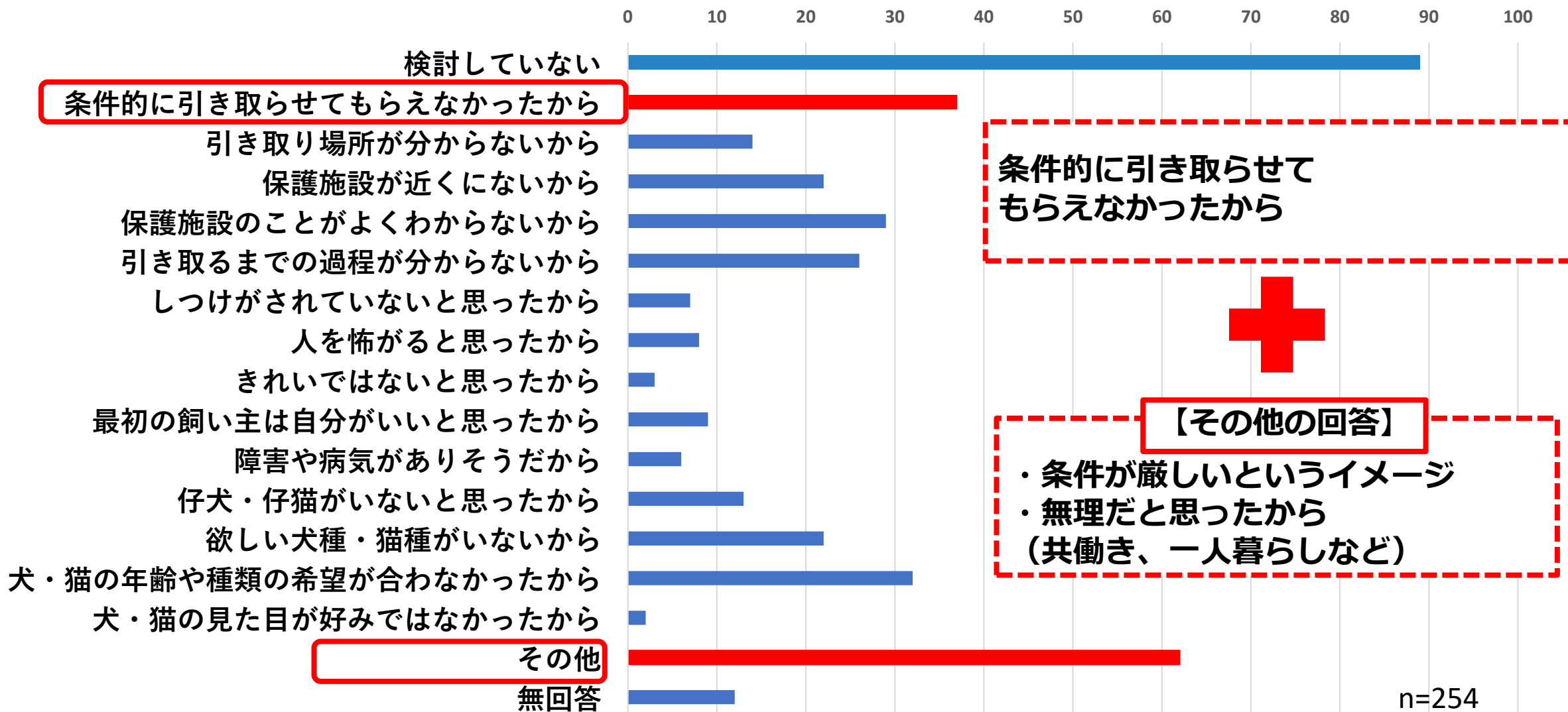
保護動物飼育の検討



保護施設や譲渡会への参加



保護動物の存在を知っていたのに引き取らなかったのはなぜ？



引き取りたいと思う要因

動物そのもの < ボランティア団体

0 50 100 150 (n=254)

譲渡会など場所がわかりやすければ

譲渡の条件がわかりやすければ

譲渡の手続きがわかりやすければ

ボランティア団体の情報が開示されていれば

信頼できるボランティア団体であれば

犬・猫を迎えるにあたって必要な知識を教えてください

ボランティア団体に関する要因

健康診断や必要な処置がされていれば

犬・猫が健康であれば

しつけがされていれば

犬・猫の年齢や種類の希望があえば

犬・猫の見た目が好みであれば

その他

動物に関する要因

【引き取りのメリット】
トライアル期間
相談

【条件】
団体によって異なる

【人と人のつながり】
×保護犬・保護猫＋新たな飼い主
○ボランティア団体＋新たな飼い主＋保護動物

保護動物の存在を知っていたのに引き取らなかったのはなぜ？



保護動物と出会う環境は整いつつある

■潜在的な飼い主の存在



飼育の満足度

